

【 企業動向調査（製造業）概況 】

2023年4月～6月期の企業動向調査（市内製造業96社）を行った結果、業況判断指数D Iの平均は▲ 20.0ポイントとなりました。

前期調査結果（2023年1月～3月期：▲ 23.1ポイント）と比較して3.1ポイント好転しました。その他経営上の問題については、「電気代、燃料費の高騰が利益減が問題です。」、「半導体関係での受注が激減しています。今後の動向の情報を集め的確に対応したいです。」、「輸出のない中小事業者は実体経済より非常に悪い状況かと思えます。賃金と労働生産性の不釣り合いが発生し2025年の大廃業時代もかなり現実感が出てきた気がします。」などの意見がありました。

1. 今期調査結果は、「食品」は0ポイント、「金属」、「一般機械」「電気機械」、「木材家具」、「その他業種」はマイナスポイントとなりました。

業種別の業況判断前期比D I

食品	0.0	（前期比：マイナス	11.1）
金属	▲ 21.4	（前期比：プラス	9.4）
一般機械	▲ 18.2	（前期比：マイナス	18.2）
電気機械	▲ 15.4	（前期比：プラス	23.1）
木材家具	▲ 16.6	（前期比：プラス	63.4）
その他業種	▲ 35.7	（前期比：マイナス	10.7）

2. 次期予想D I（2023年7月～9月）

次期予想の平均は▲ 16.9ポイントで、今期調査結果の平均(▲ 20.0)より、3.1ポイント上回る予想となりました。

業種別の次期予想D I

食品	0.0	（今期比：プラスマイナス	0.0）
金属	▲ 21.5	（今期比：マイナス	0.1）
一般機械	▲ 45.5	（今期比：マイナス	27.3）
電気機械	▲ 23.1	（今期比：マイナス	7.7）
木材家具	0.0	（今期比：プラス	16.6）
その他業種	0.0	（今期比：プラス	35.7）

3. 経営上の主な問題点

「原材料・仕入品単価の上昇」が72.3%、「受注の減少」が63.1%、「人材不足（技術者等質的なもの）」が38.5%、「労働力不足（量的なもの）」が24.6%、「同業他社との競争激化」が21.5%、「技術力の不足」が12.3%、「納期の短縮」が9.2%、「製品販売価格の低下」が7.7%、「金融難」が3.1%、「人員過剰」と「取引先の海外シフト化」と「為替相場の変動」が1.5%となっております。

企業動向調査

【2023年4月～6月期<2期>】

【調査概要】

須坂市産業振興部産業連携開発課では、市内製造業の景気動向を探る手段として、年4回市内企業を対象にアンケート調査を実施しており、今回は2023年4月～6月期<2期>の業況について調査した。

【調査実施要領】

実施時期 2023年7月

対象企業 須坂市内または事業所を有する製造業企業 96社

回答企業数 66社（回答率 68.7%）

【調査結果】

自社業況判断（D I = 好転－悪化）

前期比：「好転」15.4%（前回13.8%）、「悪化」35.4%（前回36.9%）という割合でD Iは▲20.0となり、3.1ポイント好転した。

前年同期比：「好転」14.1%（前回14.3%）、「悪化」46.9%（前回36.5%）という割合でD Iは▲32.8となり、10.6ポイント悪化した。

次期予想：「好転」10.8%、「悪化」27.7%という割合でD Iは▲16.9（前回▲23.8）となり、前期より好転を予想している。

受注引合（D I = 増加－減少）

前期比：「増加」16.9%（前回10.9%）、「減少」44.6%（前回34.4%）という割合でD Iは▲27.7となり、4.2ポイント減少した。

前年同期比：「増加」18.8%（前回9.7%）、「減少」48.4%（前回38.7%）という割合でD Iは▲29.6となり、0.6ポイント減少した。

次期予想：「増加」9.4%、「減少」34.4%という割合でD Iは▲25.0（前回▲21.0）となり前期より減少を予想している。

生産量（D I = 増加－減少）

前期比：「増加」18.5%（前回12.5%）、「減少」41.5%（前回34.4%）という割合でD Iは▲23.0となり、1.1ポイント減少した。

前年同期比：「増加」16.9%（前回12.9%）、「減少」47.7%（前回38.7%）という割合でD Iは▲30.8となり、5.0ポイント減少した。

次期予想：「増加」12.3%、「減少」36.9%という割合でD Iは▲24.6（前回▲11.2）となり、前期より減少を予想している。

原材料・仕入品単価 (D I = 低下－上昇)

前期比：「低下」1.6% (前回0.0%)、「上昇」54.0% (前回54.0%) という割合でD Iは▲52.4となり、1.6ポイント低下した。

前年同期比：「低下」1.6% (前回3.3%)、「上昇」69.8% (前回75.4%) という割合でD Iは▲68.2となり、3.9ポイント低下した。

次期予想：「低下」0.0%、「上昇」46.0%という割合でD Iは▲46.0 (前回▲44.3)となり、前期より原材料・仕入単価の上昇を予想している。

製品販売価格 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」27.0% (前回31.3%)、「低下」11.1% (前回0.0%) という割合でD Iは15.9となり、15.4ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」41.3% (前回50.0%)、「低下」12.7% (前回3.2%) という割合でD Iは28.6となり、18.2ポイント低下した。

次期予想：「上昇」17.5%、「低下」11.1%という割合でD Iは6.4 (前回17.7)となり、前期より製品販売価格の低下を予想している。

資金繰り (D I = 好転－悪化)

前期比：「好転」3.1% (前回9.2%)、「悪化」21.5% (前回20.0%) という割合でD Iは▲18.4となり、7.6ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」4.6% (前回6.3%)、「悪化」29.2% (前回27.0%) という割合でD Iは▲24.6となり、3.9ポイント悪化した。

次期予想：「好転」3.1%、「悪化」29.2%という割合でD Iは▲26.1 (前回▲11.1)となり、前期より資金繰りの悪化を予想している。

所定外労働時間 (D I = 増加－減少)

前期比：「増加」7.7% (前回4.6%)、「減少」33.8% (前回27.7%) という割合でD Iは▲26.1となり、3.0ポイント減少した。

前年同期比：「増加」13.8% (前回6.3%)、「減少」36.9% (前回28.6%) という割合でD Iは▲23.1となり0.8ポイント減少した。

次期予想：「増加」9.2%、「減少」30.8%という割合でD Iは▲21.6 (前回▲15.9)となり前期より労働時間の減少を予想している。

収益率 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」7.8% (前回7.8%)、「低下」43.8% (前回37.5%) という割合でD Iは▲36.0となり、6.3ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」10.9% (前回8.1%)、「低下」48.4% (前回53.2%) という割合でD Iは▲37.5となり、7.6ポイント上昇した。

次期予想：「上昇」6.3%、「低下」43.8%という割合でD Iは▲37.5 (前回▲27.8)となり、前期より若干の収益率の低下を予想している。

経営上の問題点（複数回答）

1位	原材料・仕入品単価の上昇	(→ 72.3%)
2位	受注の減少	(→ 63.1%)
3位	人材不足（技術者等質的なもの）	(→ 38.5%)
4位	労働力不足（量的なもの）	(→ 24.6%)
5位	同業他社との競争激化	(↑ 21.5%)
6位	技術力の不足	(↓ 12.3%)
7位	納期の短縮	(↓ 9.2%)
8位	製品販売価格の低下	(→ 7.7%)
9位	金融難	(→ 3.1%)
10位	人員過剰	(↑ 1.5%)
10位	取引先の海外シフト化	(↑ 1.5%)
10位	為替相場の変動	(→ 1.5%)

※ 「↑」 前回の順位から上昇 「→」 前回の順位から変動なし
「↓」 前回の順位から下降

業種別自社業況判断／食品

前期比：「好転」42.9%（前回33.3%）、「悪化」42.9%（前回22.2%）という割合でD Iは0.0となり、11.1ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」28.6%（前回33.3%）、「悪化」42.9%（前回22.2%）という割合でD Iは▲14.3となり、25.4ポイント悪化した。

次期予想：「好転」0.0%、「悪化」0.0%という割合でD Iは0.0（前回44.4）となり前期より大幅な悪化を予想している。

業種別自社業況判断／金属機械

前期比：「好転」14.3%（前回7.7%）、「悪化」35.7%（前回38.5%）という割合でD Iは▲21.4となり9.4ポイント好転した。

前年同期比：「好転」7.1%（前回15.4%）、「悪化」50.0%（前回38.5%）という割合でD Iは▲42.9となり、19.8ポイント悪化した。

次期予想：「好転」7.1%、「悪化」28.6%という割合でD Iは▲21.5（前回▲38.5）となり、前期より好転を予想している。

業種別自社業況判断／一般機械

前期比：「好転」18.2%（前回30.8%）、「悪化」36.4%（前回30.8%）という割合でD Iは▲18.2となり、18.2ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」18.2%（前回23.1%）、「悪化」36.4%（前回15.4%）という割合でD Iは▲18.2となり、25.9ポイント悪化した。

次期予想：「好転」0.0%、「悪化」45.5%という割合でD Iは▲45.5（前回▲38.5）となり前期より悪化を予想している。

業種別自社業況判断／電気機械

前期比：「好転」15.4%（前回0.0%）、「悪化」30.8%（前回38.5%）という割合でDIは▲15.4となり、23.1ポイント好転した。

前年同期比：「好転」7.7%（前回8.3%）、「悪化」69.2%（前回41.7%）という割合でDIは▲61.5となり、28.1ポイント悪化した。

次期予想：「好転」15.4%、「悪化」38.5%という割合でDIは▲23.1（前回▲16.7）となり前期より悪化を予想している。

業種別自社業況判断／木材家具

前期比：「好転」16.7%（前回0.0%）、「悪化」33.3%（前回80.0%）という割合でDIは▲16.6となり、63.4ポイント好転した。

前年同期比：「好転」33.3%（前回0.0%）、「悪化」50.0%（前回100.0%）という割合でDIは▲16.7となり、83.3ポイント好転した。

次期予想：「好転」16.7%、「悪化」16.7%という割合でDIは0.0（前回▲80.0）となり、前期より好転を予想している。

Q10 日銀松本支店が7月3日に発表した、企業短期経済観測調査(短観)によると、全産業の業況判断指数(DI)は、前回調査(3月)から1ポイント改善のプラス2となり、製造業(DI)は、マイナス2と2ポイント改善し、非製造業(DI)は、1ポイント悪化のプラス7。自社の景況感をどのように感じておられますか。

A 「変わらない」36.9%、「今はないが、今後悪化が見込まれる」30.8%、「悪化している」20.0%、「今はないが、今後好転が見込まれる」9.2%、「好転している」3.1%。

Q11 今年度から須坂市いきいき！職場改善支援事業補助金がありますが、貴社では対応予定はありますか。

A 「取り組んでいない」70.8%、「取り組み予定」16.9%、「すでに取り組んでいる」、「無回答」ともに6.2%。

Q12 その他経営上の問題についてご記入ください。

A 「人材不足と採用とその対策。半導体・部品不足起因の客先増産による生産対応。物価高、エネルギーコスト増加による利益逼迫。」、「電子部品の調達難のほか原材料・仕入品の価格高騰が続き、付加価値への影響が出ている。米中問題をはじめとした地政学リスクを懸念し、一部ビジネスで先行き不透明感が高まっている。」、「昨年の御開帳景気から一転して4月以降の状況が思わしくない。原材料価格の転嫁が影響したかもしれないが、原材料価格の上昇は留ま

らず、先行き不安は尽きない。」「在庫過多による生産調整が終わり、生産が戻ってきたところでまたすぐに減産になり困惑している。想定より動きが鈍くなっているのか客先は過剰な在庫を持たないよう慎重になっているようだが生産の増減にあわせて人員を配置調整しなければならず非常に困っている。」「受注動向が見えなく、かつ不安定な状況が続き、粗利益も悪化している。」「工事の遅れによる製品出荷の遅れ、延期等で働き方改革により、建設業の作業現場が遅れがちで、そこが課題。」「上半期を終えて、昨年より受注量の減少を感じる。原材料等の上昇はやや収まったが、以前高値を推移しており、下がる傾向にないため、収益に問題がでそう。」「夜勤勤務希望者の応募がない。」「受注の減少に歯止めがかからない状況。」等。

